



鋭

意専心（えいいせんしん）している受験生がいます。

鋭意（えいい）とは、あることに対して集中して真剣に取り組んでいることを意味します。

専心（せんしん）とは、心を一つのことだけに集中することを意味します。

受験生にとっては、気の休まらない期間が続きます。進路活動を頑張っている姿を見かけたときは、優しく声をかけてください。先日、受験生に対して、お茶の差し入れをした仲間がいました。お茶をもらった生徒は嬉（うれ）し気（き）持ち（もち）にな（な）ったこと（こと）でしょう。その光景（ひかりげい）は、ビューティー（ビューティー）でした。

○受験報告書より【編集者NのPick Up!!】

本校定時制では、入試を受け終えた後に受験報告書を記入して提出することになっています。実際に受験した生徒は、当日の受験科目の内容、面接官の人数、質問内容などを思い出しながら報告書にまとめます。11月は、定時制の複数の生徒たちが大学を受験しました。以下に、提出された報告書の一部を紹介します。

【質問内容】

- Q. 定時制高校は、どのようなところか。
- Q. 学校生活で頑張ったことは何か。
- Q. 入学後に組みたいことは何か。
- Q. ○○になろうと思ったきっかけは何か。（○○には、保育士・美容師・看護師などの職業が入ります。）
- Q. 学校（高校）を欠席した理由は何か。

これらの質問内容は、面接練習時点で生徒と先生が何度も確認していました。

ちなみに、受験報告を聞く先生たちは、生徒から次の言葉を耳にすることが多くなりました。

「面接というよりか、ほとんど雑談に近いような感じだった。」

大学だけでなく専門学校を受験した生徒も口を揃えて、同じ感想を言っていました。受験生にとっては落ち着いて話ができるようになるでしょう。ただし、面接官に対する話し方までユルくならないように・・・。

○進路活動状況について

12月16日時点で、本校で進路活動をした卒業予定者の決定状況は、以下の通りです。

大	学・・・2名	専	門学校・・・3名
就	職・・・1名	そ	の他・・・1名

○就職希望者の学校斡旋と縁故就職

学校斡旋は、生徒の成績や生活態度を総合的に判断して、校長先生が企業に推薦します。先生や板橋有徳高校を担当するハローワークの方と一緒に求人票で就職先を探しながら、進路活動をします。

縁故就職は、家族や知り合いの方などの紹介で就職先を見つけます。お家の仕事を手伝ったり、友達やアルバイト先の紹介で仕事を見つけたりすることでしょう。縁故就職の注意点は、給料・労働時間・休日などの労働条件の説明をきちんと聞くことです

○残り50日程度となりました。

2022年も残すところ一週間程度です。今年1年間を振り返って見たときに、皆さんはどのように成長できたかまとめてみましょう。

さて、残り50日程度とは何を意味しているか。その答えは、今年度の登校日の日数です。約50回程度登校した時には、春休みに突入しているでしょう。来年の4月には、3年次の皆さんは4年次になります。他の年次も同様、年次が一つ上がります。

- ・自分のやってみたいこと（仕事や学びたいこと）
- ・お金に関すること（進学費用、スーツ購入費等）
- ・生活習慣を見直すこと（欠席・遅刻を無くす）

担任の先生や進路指導部の先生から同じ内容を何度も確認されているかもしれません。この3点は、学校の先生や他人が何とかすることはできません。

みなさん一人ひとりが進路について、具体的に考えて、動き始めましょう。